

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-KOTO

THE SERVICE CLUB OF YMCA

Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs, Chartered, 1959

Koto YMCA 3-15 Ishijima Koto-ku Tokyo Japan. Phone (03) 3645-7171. FAX (03) 3645-8454



国際会長 Moon Sang-Bong (韓国)
 アジア太平洋地域会長 田中博之 (東日本区)
 東日本区理事 宮内友弥 (東京武蔵野多摩)
 関東東部部長 衣笠輝夫 (埼玉)
 東京江東クラブ会長 宇田川敬司

主 題 "Yes, We Can Change!" 「私たちは変えられる」
 スローガン "Courage to challenge" 「挑戦への勇気」
 主 題 "Action!" 「アクション！」
 スローガン "With Pride and Pleasure"
 「誇りと喜びを持って」
 理事主題「為せば、成る」(No challenge, No fruit)
 スローガン「ワイズが何をしてくれるのではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう。」
 (Ask not what Y's can do for you. Ask what you can do for Y's.)
 部長主題「良いものを見つけ、つなげて、よくなるよう」
 会長主題「ワイズメンズクラブだから」を楽しもう！



2018～2019年度 東京江東ワイズメンズクラブ 12月報

クリスマス例会

と き 12月8日(土) 17:00～礼拝
 19:00～20:50
 ところ 礼 拝 木場 堺福音教会東京チャペル
 祝 会 森下 ユナイテッドダイナー
 受付 島田 徹君

プログラム

第1部
 開会礼拝 司会 菅原 創君
 讃美歌、聖書朗読
 メッセージ 堺福音教会東京チャペル 北 秀樹牧師
 第2部 祝 会 司会 相川 達男君
 開会点鐘 会長挨拶 ゲスト紹介 会長 宇田川 敬司君
 食前の感謝 草分 俊一君
 乾 杯 柳沢 広繁君
 会食・歓談
 プレゼント交換
 誕生日・結婚記念日
 スマイル・各種報告
 閉会点鐘 会長 宇田川 敬司君

※ハッピーバースデー
 メン 本間 剛君・安藤 正武君
 メネット 寺尾千嘉子さん
 ※結婚記念日 菊地夫妻

今月の聖句

『主こそ王。諸国の民よ、おののけ。主はケルビムの上に御座を置かれる。地よ、震えよ。主はシオンにいまし、大いなる方。すべての民の上に高くなります。』
 詩編 99 篇 1～2 節

会員増強に向けて



関東東部会員増強事業
 主査 金丸満雄

今月の強調テーマは、EMC - M (Membership = 会員増強) と C (Conservation = 維持啓発運動) です。7月1日現在、東日本区 860 名内関東東部は 136 名となっています。

会員増強は永年のテーマとして毎年様々な取組が行われていますが、その成果が表れず減少し続けています。今期、伊丹一之東日本区会員増強事業主任より、「2022 年をゴールとする中期会員増強運動を展開すること」が提案され第 2 回東日本区役員会で決定致しました。ワイズメンズクラブ国際協会は 2022 年に創立 100 年を迎えます。東日本区においても 2022 年を目指し、東日本区発足時の会員数 1246 名を目標に中長期会員増強事業計画(期間: 4 年、目標会員数 1246 名、新クラブ 5 人以上で設立、取組み体制: EMC 事業新組織委員会、詳細: 役員会承認後詰める)が新しいプロジェクトとしてスタートします。

関東東部 EMC 事業委員会では、3 年前から新クラブ設立に向け活動してきました。その努力が実り、仮称千葉ウエストクラブ誕生に向け、千葉クラブがスポンサークラブとなり長尾昌男設立準備委員会が選出され誕生に向けスタートします。オール関東東部で支援し 11 番目のクラブ誕生に期待します。

関東東部の活性を考え、「新しいワイズ像」5 人クラブを会員増強運動の一環として、他の地域にも新クラブ設立に向けた運動も起こしたいと思います。

今月の強調月: ワイズ理解 EMC-MC

11月会員数	11月出席者	11月出席率	アクティブファンド		ニコニコボックス		クラブ役員	
21名 内広義会員 3名 休会0名	メンバ ー 16名 メ ネット 2名 コ メ ッ ト 0名 ビ ジ タ ー 0名 ゲ ス ト 10名	89% (16/18)	前年まで	2,201,197	前月まで	33,750	会 長	宇田川敬司
			11月分	0	11月分	0	副 会 長	山崎常久
			残高	2,201,197	累計	33,750	会 計	島田徹
							書 記	相川達男
							直 前 会 長	酒向裕司
							連 絡 主 事	草分俊一

リーダー&カトチャン活動報告会（本例会）

山崎 常久



我々は東京 YMCA 江東コミュニティセンターをベースに活動している。ここをベースに活動している団体は幼稚園

を筆頭に、学生リーダーグループ、体操やサッカーを子供たちに教えるグループ、幼稚園保護者会とその OB グループ、カルチャー教室等、多岐にわたっており、それら全てを包括して江東 YMCA ファミリーと呼んでいる。11月の例会は、そのファミリーの若手メンバー、学生リーダー2名の研修報告と、センター職員の加藤さんの広島での西日本豪雨災害復興ボランティアの活動報告を講演者として行われた。講演内容はそれぞれの演者に別記してもらうのでここでは控えるが、この例会を通じて改めて感じたことは、我々は YMCA という清廉なバックボーンと大きな傘の下、有志数名による自発的ボランティアでは為しえない長期的視点に立った若人育成と、戦略的機動的なボランティア活動が可能になっているという事。言い方を変えるならば、何か新しいボランティア活動を行うのであれば、YMCA という組織と上手に協力して行うことで、より実効性のある活動が可能になるということ。又、若手リーダーと交流することは、ともすれば前例踏襲のマンネリ化に陥りがちなワイズ活動に元気と勢いを与えてくれ、ワイズの例会にもプログラムによってはファミリーのメンバーにも積極的に参加してもらうことで一体感を醸成することができるという可能性。まだまだ変えられることはある。そんなことを考えさせてくれた本例会。（参加者:相川、安齋、安藤、菊地、草分、小松、酒向、島田、駿河、鈴木、本間、山崎）

広島ボランティアワーク報告

江東コミュニティセンターディレクター
加藤 学



今回、第5期の最終ボランティアワークとして9/24から9/28まで広島へ行ってきました。東京Yから、スタッフ2名、学生リーダー2名、熊本Yからスタッフ2名の合計6名がチームとして参加しました。7月の豪雨が襲った広島は、3か月経った現在、家々に入り込んだ土砂の撤去はほぼされてはいましたが、復興にはまだまだ時間がかかるであろうという印象を受けました。押し潰された家々、車と同じくらい大きな岩が家の前にあったり、原形が分からないほどの車があたりと、当時の恐ろしさを思わせていました。私たちは、初日に被災地（安芸区小屋浦）見学とオリエンテーション、炊き出しの手伝いをし、翌日から3日間のワークを行ってきました。ワーク内容は、重機が入れない民家の軒下や庭の泥出しや廃材の運搬などが主でした。最初の2日間では、土のうが約350個運び出されました。今回広島でも感じたことは、全国の様々な災害に対して、その一つ一つを忘れてはならないということでした。51心を痛めながらも、必死になって復興に向け頑張っている現地の方々が多くいることをいつまでも心に留めたいと思いながら、今後我々がやれることは何か、風化させないためにはどうすればよいかを考えることだと思いました。

全国リーダー研修会に参加して

粉川美乃里（シナモン）



三日間という限られた時間でしたが、大変学び多き研修でした。

全国から集まったリーダー達と議論をするからこそ多様な価値観に触れられ、多くの刺激をもらいました。活動内



容やリーダー会の進め方などは異なるけれど、「子どものため」「人のため」、リーダーたちが熱い思いを持って各々の活動に望んでいると感じ、同じYMCAのリーダーとして誇りに思いました。モットーである“みつかる、つながる、よくなっていく”を胸に、これからも様々な形でボランティアに関わっていけたらと思います。

ユースボランティアリーダーズフォーラムに参加して

小倉明日香（ぱく）



今回の山中湖センターで行われたユースボランティアリーダーズフォーラムは、「今、リーダーに求められること」というテーマでグループを中心に話し合い、私たちのグループは変化する時代の中で枠にとらわれず、柔軟に新しい視点でみんなの居場所を作り続けようという目標ができました。また頑張りあえる素敵な仲間と出会えました。このような機会を与えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。これからもより多くの人のための居場所となるように、みなさんと一緒にYMCAをつくっていきたいです。

第2回関東東部評議会報告



相川達男

今期第2回目の関東東部評議会が11月17日に行われました。会場は東陽町コミュニティセンター。江東クラブからはお子さんの学校行事で出席が叶わなかった宇田川会長に代わり小松さん、酒向さん、相川の江東水戸黄門トリオ（もちろん黄門様は小松さん）が出席しました。部役員を含め約25名の出席者のもと、衣笠部長の開会点鐘で会は始まりました。部長挨拶に続き各事業主査の報告、特筆する事としては会員増強事業主査の金丸さんの報告で、千葉船橋地区に新クラブを設立するための委員会を立ち上げる報告が有りました。千葉クラブを中心に新たな動きが始まっているようです。続いて各クラブの活動が報告されました。部内の10クラブの報告を聞く中で、私の個人的な意見ではありますが全体的にはメンバーの高齢化などにより活動範囲を縮小しているクラブが多いように感じられました。その様な中で一番元気な報告をされていたのは茨城クラブでした。茨城YMCAとの関わり方を見直し、YMCAに依存していた体制からワイズメンズクラブとして独自の活動を見出していると熱く語られていました。その後3件の議案が審議され午後1時半から始まった約3時間の評議会は終了となりました。終了後、途中行方不明になった黄門様を除き江東の助さん格さんは懇親会へと繰り出したのであります。

（出席者 小松、酒向、相川）



やきとり

朝9時に行く

既に菊地さんがスタンバイ。今回はコンロがなく、新聞紙と送風機で火起こし。灰を周囲にバラまいて、クレームをもらいながらも何とか火起こし成功。佐藤さん、相川さんとで早速焼き鳥を始めました。園の父母の手伝いに助けられながら、せっせとストックを用意しましたが、お昼ごろにはストックが減り始めて、自転車操業になりつつも、何とかやきとり1500本完売しました。手伝って頂いたお父さん、お母さん、休みなくひたすら焼き鳥を焼いていただいて助かりました。本当に皆様、お疲れ様でした。次はもう少しのんびり焼きたい。。。 (酒向)



から、たこ切りと焼く時間が長く、焼き鳥は風向き次第で熱く煙い。焼きそばは簡単だが忙しい。一番楽なのが「うどん・そば」年寄り向き。麺は焼きそばも含め「宮入製麺」(今年3月廃業、区内に業者なし)。昔はうどんが多い。地域差か季節の関係か、今年は園児のお母さんの協力でワイズで頑張ったのは安藤さん。ビールを欲しがると枯木の賑わいは。(安斉、藤井、柳沢、記:香取)

チャーハン隊

11月11日(日)

恒例の江東幼稚園バザーで、ここ数年定着したチャーハン作りを担当し、宇田川会長、手伝いのお父さん;前野さん、井田さん、北見さんと、最強コンビお母さん;松澤さん、菅沼さん、虹の役員員;手塚さん、(子供たち)とともに、黙々と休みなく、エンドレスチャーハン!!

スタートからの会場を回っての販売効果も手伝って売上金額



59,000円。また、最終回は、焼きそば隊から回ってきた大量の肉も混ぜ込み、一気に10Kgの賄いチャーハンを調理。それにしても、油を多く使うレシピだこと。。打ち上げも、きっちり関係プレー!!

汗だく、チャーハン隊でした。。。 (本間 剛)

献品

例年通り、10時の開店を待つお客様の期待を裏切ることのない内容を今年も提供でき厚く御礼申し上げます。

懸念であった食品、酒類の展示は、本年も最初ラッシュの的になり、警備としては、また来年に改良の継続をお願いする次第でした。今年の特徴としては、どんなに安価な値札がついていても、内容を確認するお客様が多くいて、出来ればイメージのわからない衣類は値札にデジカメやイラストでイメージがあれば円滑な販売になり、スタッフの手を煩わせなくなるの

ではと思いました。特に最初は、年配のお客様も多く、サイズや内容は問い合わせが多かったと思われました。売上は例年通りと聞いていますので、大成功であったと、ご報告いたします。(島田)

バザー打ち上げ

江東センター本館3階大ホールにて打ち上げは盛大に行われました。数年前まではバザーの打ち上げは各コーナーごとに別々の場所で行われていたのですが、ここ2,3年は参加者全員一緒にこの形式で行われているとの事、素晴らしい事です。模擬店から打ち上げ用に取り分けておいてもらった軽食を取りながら、グループの垣根無く楽しく談笑するひと時、江東センターならではのファミリー感。各コーナーごとに壇上に上がり、当日の出来事や感想を発表し、お約束の茶々入れもあり、打ち上げは大いに盛り上がりました。(参加者:宇田川、草分、佐藤、駿河、本間、記:山崎)

うどん、そば

うどん、そば担当

は15年以上。入会時ワイズは「焼きそば、うどん・そば、焼き鳥、たこ焼き」5年以上たこ焼きをやり、たこ焼きは生地作り



ワイズガーデン

菅原 創

11月17日(土)に木場公園のワイズガーデン(以下、YG)で種蒔きを行いました。又、翌18日(日)にはワイズチャイルドガーデンで子供たちによる球根植えを行いました。この二日間にわたる土に触れるアグリカルチャーなイベント、今となっては整った畑で当然のように植栽作業を行っていますが、実はここに至るまでが山あり谷あり石あり岩ありであったことを殆どの方が御存知ないと思いますので、今日はそのことに少しだけ触れてみます。

振り返れば20年以上前、木場公園開園当初は全域にまで手が回らなかったようで、今のYGの地域は荒地地で見ても無残な様相でした。折角の公園が台無しだ。そう考えた若かりし日のK氏をはじめとする数名のワイズメンバーが、公園事務所に掛け合って労力を提供するから公園を綺麗にさせてくれと申し出ました。数度にわたる話し合いを経てやっと認められた開拓作業ですが、いざやってみるとまさか荒地地、石や岩がゴロゴロと出てきて土もザラザラ、種蒔きなどできる状況ではありませんでした。何年もかけ、畑の様相を呈してきた頃にやっと道もつけられ今に至っているのです。先人の苦勞を忘れることなく、これからもYGを大事にしていきたいですね。あ、K氏は今も御健在です。(参加者:多数)

11月役員会報告 出席者 島田、酒向、山崎、草分、相川

11月29日 江東YMCA 19:00~

議題

- ①クリスマス例会 12月8日(土)17:00~ 木場堺福音教会東京チャペルで礼拝 18:00~ 森下 ユナイテッドダイナーでクリスマス会。例年通り北先生に礼拝をお願いする。詳細はB委員会より
- ②東陽町クリスマスオープンハウス 江東ワイズはうどん・そばを提供する。250食販売予定。9:00集合。
- ③江東ワイズ忘年会 12月29日(土)18:00~ 精華楼
- ④在京新年会 1月5日 八王子 後日出席者確認
- ⑤新年例会 例年通り落語を鑑賞する。後日寺尾さんに依頼。1月第3土曜日を候補。父兄にも声がけし子供達にファミリーで落語を鑑賞する機会を提供する。
- ⑥その他 本年も幼稚園のクリスマス献金をロールバックマラリアに献金いただけるとの申し出有。12月早々にワイズが父兄のインフォメーションで挨拶。1月の第一例会は例年通り無しとする。60周年の準備委員会立ち上げなど第一例会で協議する。

YMCAニュース

江東コミュニティーセンター&幼稚園の報告

バザー



11月11日(日)、天気は暖かい秋晴れ。ボランティア、虹の会、白木蓮、江東ワイズメンズクラブ、リーダー、リーダーOB OG……のお支えの中、無事に終えることができました。そして約140万円の益金を得ることができました。この益金の使途は、子どもの遊具・本、地域協力活動、チャリティーランチチームエントリー費補助、ボランティアリーダー養成、国内復興支援募金、国際協力募金、江東親睦会等に用いる予定です。今年度のテーマは「つなげよう・絆・いつまでも」。準備から本番までを楽しみながらバザーを行うことができたのではないかと考えております(バザー準備委員会を3回、そしてバザー終了後に評価会、計4回の委員会を開催しました)。

木場公園 チャイルドガーデン



都立木場公園の一角の中地区緑地をボランティアで管理を行っている江東ワイズメンズクラブから、その一部を「チャイルドガーデン」として、江東センターがお借りし、チューリップの球根を1,000個植えました。この球根は全て江東ワイズからの寄付です。ありがとうございました。在園の保護者に球根植えを呼び掛けると多くのファミリーが参加してくれました。子ども、保護者、ワイズ、スタッフ、総勢55名が集まりました。木場公園スタッフの方々が小さな子どもたちでも球根を植えることができるようにと、土を耕してくれました。小さな子どもたちは手で土を掘り、球根を植え、その上に土をかけ、お父さん、お母さんと楽しいひと時を家過ごしました。これから冬本番、そして春にはきれいなチューリップが咲き乱れるのが楽しみです。

江東コミュニティーセンター&幼稚園の予定

クリスマス会

子どもを対象としたクリスマス会と大人を対象としたクリスマス会の2本立てで、12月1日(土)に開催します。子どもクリスマ

ス会は「弦楽四重奏、キャンドルサービス、クリスマスメッセージ」を基軸としてプログラム編成し、大人のクリスマス会は、ゴスペルソングを聞く!習う!唄う!そして、今年は子どもたちの前で発表!というプログラムを計画しています。音楽を楽しみながらクリスマスメッセージを織込んだプログラムを行う予定です。クリスマス会メッセンジャーは、子どもクリスマス会には、日本バプテスト深川教会の清水美穂牧師、大人クリスマス会には、堺福音教会東京チャペルの北秀樹牧師へ依頼しています。尚、奉げられる献金は国際協力募金に用いる予定です。

▼幼稚園終了式:12月19日(水)

▼OZEエンジョイスキーキャンプ(尾瀬戸倉):12月27日(木)~30日(日)3泊4日。

対象は年中~小学6年生。尾瀬戸倉のゲレンデでスキーキャンプを開催いたします。

▼わんぱく戦隊トマルンジャー

12月20日(木)~22日(土)。対象は年中~年長。

1日目はデイキャンプ。2日目は1泊のお泊り。宿泊先は高尾の森わくわくビレッジです。

*お子様!お孫さま!……冬休みに価値ある体験を!!!是非、ご参加ください。

オール東京

▼オール東京スキー実技トレーニング(尾瀬戸倉):12月13日(木)~16日(日)

▼3法人合同クリスマス礼拝・祝会:12月12日(水)

▼国際プログラム報告会・クリスマス祝会:12月15日(土)

▼第13回子育て講演会:1月19日(土)10:00~12:00(しのためYMCAこども園)

「輝く瞬間 最初に気付くのはママ」と題して、河村 都氏に子育てについてのアドバイスをいただきます。無料・申込みは12月3日(月)より以下URLにて東京YMCAへ。

・URL:<https://goo.gl/aEFxk2>

・TEL:03-6278-9071 ・FAX:03-6278-9072

・e kaiin@tokyoymca.org

今後の予定

12月23日(日) 東陽町クリスマスオープンハウス

12月29日(土) 役員会・忘年会

1月5日(土) 在京新年会(八王子)

1月19日(土) (予定) 新年例会



編・集・後・記

▲バザー、ユース例会と若い人達と交流する事が多かった11月。つい先日まで自分も若い側の人間とと思っていましたが気が付けば、やれどこが痛い、疲れたなど今では立派な中高年。気持ちだけは若くと努力するところも最早初老の域。鍋食べて、ビール飲んで若返るぞ!(T.A)

▲世間はクリスマスで年の瀬を感じるのが世の常ですが、偏屈者に付き早慶戦で晩秋を、早明戦で師走を、大学選手権で年の瀬を感じるように體に擦りこまれています。明治と天理に期待してます。(痛風)

